

京都から拓く

文化庁関西元気文化圏参加事業



「環境と文化・京都会議2012」
プレフォーラム

男女共同参画環境

—文化勲章受章者・公益財団法人 京都オムロン地域協力基金
ヒューマン大賞・ヒューマンかざぐるま賞受賞者を迎えて—

講演Ⅰ：商いを担った都の女たち

講師 脇田 晴子(歴史学者、石川県立歴史博物館長 文化勲章受章者)

講演Ⅱ：男女共同参画の実践

—人口減社会からの脱却をめざして

講師 富士谷あつ子(評論家、京都生涯教育研究所長、元福井県立大学教授)

対談：自然環境 社会環境をよくするために

対談者 澤井敏郎(N.GKS:緑の協力隊関西澤井隊代表)

吉田秀子(NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク理事長)

コメンテーター：田中まみ(京都ノートルダム女子大学非常勤講師)

コーディネーター：川口 章(同志社大学教授)



脇田 晴子



富士谷あつ子

日時：2012年6月23日(土) 13時30分

場所：ザ・パレスサイドホテル 2F「モデラート」

京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町380 電話：075-415-8887

参加費：1000円(資料代込み) 定員：60名

主催：京都生涯教育研究所 環境と文化・京都会議

共催：日本ジェンダー学会

後援：京都府 京都市

連絡先：京都生涯教育研究所 〒606-8243 京都市左京区田中東高原町28-1

電話：075-781-9699 FAX：075-791-2219 E-mail：lifelong@wg7.so-net.ne.jp

開催趣旨

「環境と文化」という問題に向き合うとき、われわれは「環境」という概念のなかに「自然環境」と「社会的環境(人為的環境)」を包摂するものとする。

では今、わが国が直面する人口の激減、とりわけ子ども人口の縮小をどうみるか、どうするか。先進諸国では厳しい少子化が軽減されつつある中で、わが国の遅滞振りが際立つ。近年、地球環境保全が重視されるなかで、社会における男女平等の達成のため、意思決定の場における男女の共同参画の実現や仕事と余暇の均衡などが強く望まれるようになった。しかしながら国際比較によれば、わが国の男女共同参画状況や仕事と余暇の配分は、誠に残念な状況であるといえよう。このような状況を克服する手立てについて、国際比較と地域比較研究を続けてきた富士谷あつ子(元福井県立大学教授)が考察する。

中世の働く女性について詳しい歴史学者の脇田晴子(滋賀県立大学名誉教授)は、京都ではかつて女性が文化・経済・労働等の領域において重要な役割を果たしてきたことについて語る。

残念ながら昨今、わが国では男女平等意識が後退気味であり、社会的処遇の格差はなお顕著である。それをどのように変えていくか。おもに社会貢献活動の中で男女共同参画を実践してきた吉田秀子・NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク理事長(平成24年度公益財団法人京都オムロン地域協力基金「ヒューマン大賞」受賞者)と澤井敏郎・N.G.K.S代表(緑の協力隊関西澤井隊隊長。平成22年度「ヒューマンかざぐるま賞」受賞者)が語り合い、社会福祉学の視点から田中まみ・京都ノートルダム女子大学非常勤講師がコメントし、ジェンダー学の視点から川口章・同志社大学教授が考察し、参加者の声を聞く。

フォーラムのあとに下記を予定しています。ぜひご参加下さい。

- 17:30～19:30
交流・懇親会と東北(気仙沼・大島)支援チャリティー
- 会場：同ホテル「グランデ」
- 参加費：6,000円
- 振込先：郵便振替 00930-5-226853
環境と文化・京都会議

ザ・パレスサイドホテル付近図



・地下鉄烏丸線「丸太町駅」下車
2番出口から左へ徒歩3分

このままお送り下さい FAX:075-791-2219

1. フォーラムのみに参加します。(1,000円)
 2. 交流・懇親会のみに参加します。(6,000円)
 3. フォーラムと交流・懇親会に参加します。(7,000円)
- ※該当する番号に○をしてください。

氏名： _____ 連絡先： _____

電話・FAX： _____ E-mail： _____